

上級

テーマ別知識練習問題1 作業環境、環境の設定と変更

問題 1

1	ウ	2	イ	3	イ
---	---	---	---	---	---

問題 2

1	ア	2	イ	3	ア	4	ア	5	ア	6	ア
---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---

問題 2-2 単位はセンチメートルに固定されており、変更することはできない。

上級

テーマ別知識練習問題2 書式設定


問題 1




1	イ	2	イ	3	ウ	4	ウ	5	ウ	6	ウ
---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---

問題 1-2 水平ルーラーには、段落のインデントの状態を表す 3 種類のインデントマーカーが表示される。


問題 1-6 <図 1> では、先頭行のインデントマーカー（▽）よりも、ぶら下げインデントマーカー（△）が右に下がっており、「ぶら下げ」のインデントが設定されているため、段落の 2 行目以降が字下げされる。

問題 1-6 の<図 9>では、②（▽）が、①の左インデントマーカー（□）よりも右に下がっており、「字下げ」のインデントが設定されているため、段落の先頭行が字下げされる。なお、△をドラッグすると □ と一緒に移動し、□をドラッグすると ▽ と △ が相対的な位置を保ったまま一緒に移動する。

<図 9>の③の「」は、配置が「左」のタブマーカーであり、プレースホルダーやテキストボックス内で文字の左位置を揃えて配置することができる。

タブ位置は、ルーラー上をクリックすることで追加することができ、ルーラー上をドラッグすることによって、位置を変更したり、削除したりすることができる。また、スライドペインの左上に表示されているボタンをクリックすることにより、タブの配置の種類を選択することができる。「」は「中央」、「」は「右」、「」は「小数点揃え」に配置するタブを表すマーカーである。

問題 1-3 テキストボックス内にカーソルがある場合や、テキストボックス内の文字列を範囲選択した場合、<図 3>のようにテキストボックスの枠線は点線が表示される。この状態では、選択されている文字列のみに書式が設定される。（問題のようにカーソルがあるだけでは書式は設定されない。）<図 5>のようにテキストボックスの枠線が実線が表示されている場合にはカーソルが非表示となり、テキストボックス全体が選択される。この状態では、テキストボックス内の文字列すべてに書式が設定される。


問題 1-5 <図 8>のようにテキストボックスの幅全体に文字を等間隔に配置したい場合には、 [均等割り付け] ボタンを使用する。



問題 2

1	イ	2	イ	3	ア	4	イ	5	ア	6	イ
7	ア										

問題 2-1 [開始] には、1～32767 までの数を設定することができる。

問題 2-2 ①の文字は「下付き」である。

問題 2-4 [ホーム] タブの  は、[すべての書式をクリア] ボタンである。
英単語の先頭文字を大文字にするには、**Aa** [文字種の変換] ボタンを使用する。

問題 2-6  は [両端揃え] ボタンである。<図 9>のようにプレースホルダー内に文字列を均等に配置するには、 [均等割り付け] ボタンを使用する。

上級

テーマ別知識練習問題3 スライド

問題 1

1	ア	2	イ	3	ア	4	イ	5	イ	6	イ
7	ア	8	ウ	9	ウ						

問題 1-3 BackSpace キーは、スライドショーの実行時に 1 つ前のスライドに戻る機能を持つほかに、アニメーション実行時に 1 つ前のアニメーションに戻る機能を持っている。

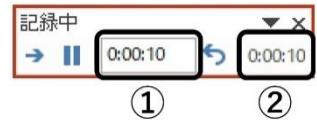
問題 1-8 すべてのスライドにおいてスライド番号の表示位置を変更するには、マスター表示に切り替え、スライドマスター上のスライド番号の位置を移動する。

問題 2

1	ア	2	イ	3	ア	4	ア	5	ア	6	イ
7	ア	8	ア	9	イ	10	ア				

問題 2-2 スライドの向きを変更すると、同じプレゼンテーション内のすべてのスライドの向きが変更される。

- 問題 2-6 「リハーサル」ツールバーにおいて、①は現在スライドショーを実行しているスライドのスライド表示時間を、②はプレゼンテーション全体の所要時間を表している。



- 問題 2-9 「ヘッダーとフッター」ダイアログボックスでは、スライド番号などの位置を変更することはできない。それらの位置を変更するには、スライドマスターを表示し、スライドマスター上でプレースホルダーの位置やサイズを変更する。

上級

テーマ別知識練習問題4 ファイル

問題 1

1	イ	2	イ	3	ア	4	イ	5	ウ	6	イ
---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---

- 問題 1-1 「選択した部分を印刷」では、選択されているスライドのみが印刷される。
「現在のスライドを印刷」では、特定の複数枚のスライドが選択されている場合でも、スライドペインに表示されているスライドのみが印刷される。
- 問題 1-2 「ファイル」タブの「エクスポート」の「ビデオの作成」で作成されるビデオには、記録されたタイミング、ナレーション、設定されたアニメーション、画面切り替え、画面切り替えのタイミングなども記録される。ただし、スライドショーで非表示に設定したスライドは含まれない。
- 問題 1-3 クラウドとは、データをパソコンなどではなく、インターネット上に保存すること、またはそのサービスのことをいう。オンライン環境があれば、どこにいても、どの機器からでもアクセスすることができ、また、データを他のユーザーと共有することもできる。OneDrive は Microsoft 社が提供しているクラウドサービスの名称である。
- 問題 1-5 既存のプレゼンテーションファイルを編集中に Ctrl+S キーを押すと上書き保存を行うが、新規のプレゼンテーションファイルでこのキー操作を行うと、[名前を付けて保存] ダイアログボックスが表示される。なお、Ctrl+D キーでは選択したオブジェクトが複製され、Ctrl+F キーでは[検索] ダイアログボックスが表示される。
- 問題 1-6 「ヘッダーとフッター」ダイアログボックスで「日付と時刻」の「自動更新」を選択すると、プレゼンテーションファイルを開くたびに、ファイルを開いた時点での日付と時刻に自動的に更新される。

問題 2

1	イ	2	ア	3	ア	4	ア	5	イ
---	---	---	---	---	---	---	---	---	---

- 問題 2-1 複数部数をスライドごとにまとめて印刷したい場合には、[ページ単位で印刷] を選択する。

上級

テーマ別知識練習問題5 編集

問題 1

1	イ	2	イ	3	ア	4	ウ	5	ウ	6	ア
7	ウ										

問題 1-1 Ctrl キーを押しながらオブジェクトをドラッグすると、オブジェクトが複製される。Shift キーを押しながらオブジェクトをドラッグすると、オブジェクトが垂直方向または水平方向に移動する。
問題のように、オブジェクトを垂直方向または水平方向に複製するには、Ctrl キーと Shift キーを同時に押しながらドラッグする。

問題 1-2 Shift キー以外に、Ctrl キーを使用して複数のオブジェクトを選択することも可能である。また、複数のオブジェクトを囲むようにドラッグすると、ドラッグした範囲内にあるオブジェクトがすべて選択される。

問題 1-5 <図 6> のコピー元の文字列「Excel で」には下線が設定されているが、[貼り付けのオプション] から [テキストのみ保持] を選択すると、下線が解除された状態で貼り付けられる。

[貼り付けのオプション] は他に [貼り付け先のテーマを使用]、[元の書式を保持]、[図] がある。デザインやテーマが異なるプレゼンテーションファイルやスライドから文字列をコピーして貼り付ける場合に [貼り付け先のテーマを使用] を選択すると、貼り付け先のスライドのデザインやテーマの色が適用された状態で貼り付けられる。図形や SmartArt グラフィックをコピーして貼り付ける場合に [図] を選択すると、図として貼り付けられる。

問題 1-7 [検索] や [置換] のダイアログボックスにおいては、[大文字と小文字を区別する]、[完全に一致する単語だけを検索する]、[半角と全角を区別する] のチェックボックスの ON/OFF により、検索結果が異なるため、注意が必要である。
<図 17> では、[完全に一致する単語だけを検索する] が ON になっており、文字列「A」のみを検索するため、検索の対象となる項目は見つからない。

問題 2

1	ア	2	ア	3	ア
---	---	---	---	---	---




問題 2-2 複数のオブジェクトがあるスライドにおいて、1 つのオブジェクトを選択した状態で Tab キーを押すと、選択されたオブジェクトより 1 つ前面に配置されているオブジェクトが選択される。オブジェクトの順番は、[図形の書式] タブの [配置] グループの [オブジェクトの選択と表示] ボタンから表示される [選択] 作業ウィンドウで確認することができる。また、[オブジェクトの選択と表示] ボタンは [ホーム] タブの [編集] グループからも選択することができる。

上級

テーマ別知識練習問題6 罫線と表

問題 1

1	ア	2	ウ	3	イ
---	---	---	---	---	---

問題 1-2  ボタンはセル内で左右中央に、 ボタンはセル内で右揃えに、 ボタンはセル内で上下中央に文字列を配置する。

問題 2

1	ア	2	ア	3	イ	4	イ	5	ア	6	ア
---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---

問題 2-3 表スタイルのオプションの「縞模様 (行)」のチェックボックスが ON に設定されている表に行を挿入すると、1 行おきに同じ色の縞模様となり、選択していた行と同じ色の行が連続して挿入されることはない。表スタイルのオプションの「縞模様 (列)」のチェックボックスが ON に設定されている表に列を挿入した場合も同様である。

問題 2-4 文字列が入力されているセルを分割する場合、文字列のどこにカーソルがあっても文字列が分割されることはない。列を分割した場合には左端のセルに、行を分割した場合には最上部のセルにすべての文字列が入る。

上級

テーマ別知識練習問題7 オブジェクト

問題 1

1	ア	2	ウ	3	ア	4	イ	5	ア	6	イ
7	ウ	8	ア								

問題 1-1 グループ化された図形は、複数の図形が 1 つの図形として扱われるため、左右を反転すると＜図 2＞のようになる。グループ化されていない図形を同時に 2 つ選択して左右を反転すると、＜図 3＞のように個別に左右が反転される。





問題 1-3 ①は調整ハンドルである。＜図 9＞、＜図 10＞は調整ハンドルを外側に向かってドラッグしたものである。

問題 1-4 Ctrl+A キーは、現在表示しているスライド上のすべてのオブジェクトを選択するショートカットキー、Ctrl+H キーは、[置換] ダイアログボックスを表示するショートカットキーである。

問題 1-6 ＜図 15＞に対して、＜図 17＞は「高さの倍率：50%、幅の倍率：50%」、＜図 19＞は「高さの倍率：50%、幅の倍率：100%」にサイズ調整したものである。

問題 2


1	ア	2	ア	3	ア	4	イ	5	ア	6	イ
7	イ	8	ア	9	イ						

問題 2-1 スライドに挿入されたグラフを選択すると、グラフの右上に  [グラフ要素]、 [グラフスタイル]、 [グラフフィルター] ボタンが表示される。グラフの元データを編集せずに、グラフ内の系列や分類の表示/非表示を行うには、 [グラフフィルター] をクリックし、表示された一覧の [値] から [系列]、[カテゴリ] のチェックボックスの ON/OFF を切り替える。

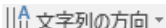
問題 2-4 <図 5> はトリミングのボタンである。トリミングを行うと、図の不要な部分が削除される。<図 7> はサイズ調整で横幅を縮小した図である。

問題 2-6 縦横比を保持したまま図形を拡大/縮小する場合には、Shift キーを押しながらハンドルをドラッグする。

問題 2-7 <図 10> は [アート効果] の「ペイント：描線」が設定された画像である。挿入された JPEG 形式、BMP 形式、GIF 形式のファイルには、[図の形式] タブの [調整] グ

ループの  ボタンから様々なアート効果を設定できる。

アート効果は、1 つの図に対して 1 つのみ設定することができる。既にアート効果が設定されている図に別のアート効果を設定した場合、後から設定したものに変更されてしまうため、注意が必要となる。


問題 2-9 横書きのテキストを縦書きにするには、[ホーム] タブの [段落] グループの  文字列の方向 ボタンを使用する。

上級

テーマ別知識練習問題8 校閲

問題 1

1	ア	2	イ	3	イ
---	---	---	---	---	---

問題 1-3 比較とは、オリジナルファイルと第三者が編集したファイルとの相違を自動検索する機能である。変更箇所には、 と変更内容が表示され、変更内容の先頭にあるチェックボックスを ON にすることによって、修正を反映することができる。

問題 2

1	イ	2	イ	3	ア
---	---	---	---	---	---

問題 2-2 スペルチェックと文章校正を行う範囲はプレゼンテーション全体となり、ノートなどに入力されている文章もチェックすることができる。